

科 目 名	論理学	単位数	1	時 間 数	30
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	1 年
科目の概要	看護師は医師と患者の間にあって、適切に情報を把握・判断・伝達する責務もある。そのためには読解力・論証力・文章作成力が必要であるが、本科目は、これらの力をテキストや配付資料を熟読・分析することを通して養成しようとするものである。また、情報を伝える文章を書く練習もし、語彙力を高めることも考慮する。				
学 習 目 標	スラッシュリーディングや指差確認を実践して、読解力・論証力・文章作成力を養成する。また、PREP 法により情報を伝える文章を書く練習をし、スマートフォンを利用して語句の意味も調べる。				
授 業 計 画	学習目標	授業方法	時間	担当	
	1. [序] 看護と文体／スラッシュリーディング／指差確認／語句の意味／ [1] わかりやすく簡潔な表現／句読点と禁則処理 2. [2] 段落の内部構造／KJ 法 3. [3] 段落の立て方と連結／起承転結／PREP 法 4. [4] 事実と意見／筆写／PREP 法（つづき） 5. 論理と論証（命題論理） 6. 論理と論証（集合、述語論理） 7. [5] 自然な正しい表現 8. ビジネスレターの知識 9. 英文について／Google 翻訳／DeepL 10. [6] 読みやすさへの配慮 11. [7] 発表する／帰納的と演繹的 12. 難読文 13. 文章読解の補充練習 14. 復習（とくに PREP 法について）／試験 15. 試験の解説／補足（手順の理解）	講義	2H 2H 2H 2H 2H 2H 2H 2H 2H 2H 2H 2H 2H 2H	外部講師	
評 価 方 法	筆記試験				
テ キ ス ト	「看護師のための文章ノート」 井部俊子 著 （日本看護協会出版会）／配付資料				
参 考 文 献	「自然言語の論理とその存在論」 石本新 金井範夫 他 著 （多賀出版）				
担当教員からのメッセージ ◆毎回、テキスト、スマートフォン（検索や国語辞典等として使用）・筆記具・ノートを持参のこと。 ◆文章を多読することは読解力を養成する上で必要であるが、インターネットのある今日、情報過多がゆえに、多読の要件は満たされていると思われる。これに対して、数少なくも、じっくりと読み込む作業はおろそかになっていると思われる。本科目では、人生で一度で良いので、このじっくり読み込む作業の経験をしてもらいたいと思っている。そしてそれは、とりもなおさず、論証力の向上や文章作成力の向上につながると考えている。					

科 目 名	生物学	単位数	1	時 間 数	30
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	1
科目の概要	生物学上の基礎的な事項に触れながら、生物の基本である細胞や遺伝情報、代謝活動、そして個体発生／調節の仕組みを理解する。				
学 習 目 標	人間の生物的存在を理解するため、基礎的科学としての生命体の仕組みを学ぶ。				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. 生命とは？ 1) 生命観とその変遷 2) 生命と生物学	講義	1.5H	外部講師	
	2. 生命体のつくりとはたらき 1) 細胞とその構造 2) 細胞成分と物質輸送	講義 小テスト①②	3.5H		
	3. 生体維持のエネルギー 1) 生体内の化学反応と自由エネルギー 2) 酵素とのはたらき 3) ATP の生合成と代謝	講義 小テスト③④	4.5H		
	4. 細胞の増殖とからだの成り立ち 1) 細胞分裂と細胞周期 2) 細胞分化と組織・器官形成	講義 小テスト⑤	3H		
	5. 遺伝情報とその伝達・発現のしくみ 1) 遺伝の法則と染色体 2) DNA の 複 製 3) 遺伝情報の伝達と RNA 4) タンパク質の合成 5) 変異とヒトの遺伝	講義 小テスト⑥⑦⑧	6H		
	6. 生殖と発生 1) 無 性 生 殖 と 有 性 生 殖 2) 動物の受精と発生	講義 小テスト⑨	3H		
	7. 個体の調節 1) ホメオスタシス 2) 各器官系のはたらき 3) 免疫のしくみ 4) 神経性相関と液性相関	講義 小テスト⑩⑪	4.5H		
	8. 刺激の受容と行動 1) 神経系の電気信号と環境の受容 2) 神経細胞の情報伝達	講義 小テスト⑫	3H		
	期末試験		1H		
評 価 方 法	期末筆記試験 70 点、小テスト(12 回)30 点				
テ キ ス ト	統計看護学講座 基礎分野 生物学 (医学書院)				
参 考 文 献	参考資料は適宜配布予定				
担当教員からのメッセージ 講義で配布する資料を読み、理解を深めてもらいたい。					

科 目 名	情報リテラシー	単位数	1	時 間 数	30
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	1 年
科目の概要	コンピュータなどの情報機器を活用する必要性が増している。本講義では看護に必要な情報リテラシーについて教授する。パソコンの基本操作、ファイル管理などを理解し、文章の作成や、計算し、発表するための知識・技術の基礎を、Word、Excel、PowerPoint を使い、演習を通して身につける。				
学 習 目 標	情報について理解し、情報の収集・処理・発信が自ら実践できることを目指す				
授 業 計 画	学習内容	授業方法		時間	担当
	1. 情報リテラシー概論 2. コンピュータと情報処理	講義		2H	外部 講師
	3. ビジネス文書作成(1) ファイル操作	講義・実習		27H	
	4. ビジネス文書作成(2) 文書入力				
	5. ビジネス文書作成(3) スタイル				
	6. ビジネス文書作成(4) レイアウト				
	7. 表計算(1) 表の作成				
	8. 表計算(2) 簡単な計算				
	9. 表計算(3) グラフの作成				
	10. 表計算(4) 関数				
	11. 表計算(5) 統計的データ解析 1				
	12. 表計算(6) 統計的データ解析 2				
	13. プレゼンテーション(1) テキストの表示				
	14. プレゼンテーション(2) 図表の表示				
	15. プレゼンテーション(3) スライドの構成				
評 価 方 法	実技試験				1H
テ キ ス ト	適宜資料を配布する				
参 考 文 系	佐瀬雄治 『看護のための情報リテラシー』 東京図書 太田勝正・前田樹海 『エッセンシャル看護情報学』 医歯薬出版				
担当教員からのメッセージ パソコンの扱いについては自習を望む					

科 目 名	生命倫理	単位数	1	時 間 数	30
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	1 年
科目の概要	看護には対象の立場にたった倫理に基づいた看護実践が求められる。看護師としての責任や役割、尊厳や権利などについて理解を深める。生命倫理、臨床倫理、看護倫理などの倫理的課題を様々な事例を用いて学習する				
学 習 目 標	1. 医療に関する倫理的課題について他者と意見を交わし自身の意見を述べる 2. 看護現場での倫理的問題に対して、看護師として求められる倫理的配慮・行動を考える 3. 臨床倫理事例を通して、意思決定支援の重要性と事例検討の方法を知る				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	【1 回】倫理とは 【2 回】倫理学の理論・対話のための理論 【3 回】生命倫理とは 【4～6 回】生命倫理に関する様々な問題の共有 生殖医療・臓器移植・虐待・認知症・ジェンダー・ゲノム医療などを調べ学習と共有 【7～9 回】看護倫理とは、良い看護とは何 専門職の倫理看護職の責務・看護倫理に関係する重要な言葉の意味 1) インフォームドコンセント、2) パターナリズム、3) 共感 4) 個人の権利・尊厳 5) アドボカシー、6) 責任・専門職・協働 7) 情報・守秘義務、8) ACP など 【10～12 回】哲学とは・哲学カフェ 【13 回】臨床倫理とその事例検討の方法 【14 回】全体のまとめ、ゲストスピーカーからの話 【15 回】試験	講義 演習	30H	外部講師	
評 価 方 法	筆記試験とレポートなど、授業やワークへの参加状況（GW・発表内容）				
テ キ ス ト	「看護倫理」南江堂 *医学書院「看護倫理」一部 *看護者の倫理綱領				
参 考 文 献	「臨床倫理の考え方と実践」「医療・ケア従事者のための哲学・倫理学・死生学」 臨床倫理ネットワーク日本の動画講義 看護者の倫理綱領				
担当教員からのメッセージ：倫理とは何か看護倫理とは何かを共有する。模擬事例を使って様々な人の考えをもとに自身の考えを深めてほしい。看護は人と人との関係から成り立ち、倫理が問われる現場である。看護実践は倫理的行為そのもの、日常の看護実践の中に倫理的問題が存在していることに気づき、聞くこと、考えること、意見をもつことの大切さを体験から感じてほしい。また、看護師を目指すものとして、倫理的配慮の必要性を理解しチーム医療の中での看護師の役割とは何かを考える機会にしてみたい。					

科 目 名	教育学	単位数	1	時間数	30
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	2 年
科目の概要	教育は「生きる力」の育成にかかわる営みであり、生涯を通しての営みでもあります。本授業では主として義務教育に焦点を当て、子どもへの接し方や相手理解などの具体に迫ります。この学びを通して、今の「自分のありよう」を見つめ直したり「人へのまなざし」を看護にも生かしたりしようとする動機付けとなるような教育学を目指します。				
学 習 目 標	各自の教育観を見つめ直し、講義や授業参観を通して共感的理解と信頼関係構築の重要性を実感したり経験したりして「私の教育論」をレポートにまとめる。				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. 私の歩みと学校教育 2. よい教師とは	講義 グループディスカッション	4H	外部 講師	
	3. 義務教育と学習指導要領 4. 日本の社会と教育	講義	4H		
	5. 信頼関係の構築と指導の基本 (1)人は見た目が9割 (2)スクールコーチングの実際	講義 VTR視聴 ペア学習	6H		
	6. 子供理解と新しい教育の方向 7. 教材研究の実際 (1)新聞紙を使ったあそびの工夫 (2)県歌「信濃の国」から学ぶ	講義 VTR視聴 ペア学習 グループ活動	6H		
	8. 授業参観と事後検討会 (1)長峰中学校参観と検討会 (2)宮川小学校参観と検討会	授業参観 グループディスカッション	8H		
	9. 私の教育論	レポート合評会	2H		
評 価 方 法	レポート「私の教育論」				
テ キ ス ト	なし				
参 考 文 献	文部科学省編 『小学校学習指導要領』 『中学校学習指導要領』 河合隼雄著 『臨床教育学入門』 神谷和宏著 『スクールコーチング』 竹内一郎著 『人は見た目が9割』				
担当教員からのメッセージ 教育について、皆さんはこれまで学ぶ側としての経験があります。本授業は教える側の視点も踏まえて教育を考えます。学ぶ側・教える側の両方からアプローチしていきますので、自分なりの意見をもつことを心がけましょう。そのために、ペアで相談したりグループでディスカッションをしたりして、主体的で対話的な学習を多く取り入れます。受け身でなく積極的な授業参加をお願いします。また、「歌う」活動も大切にしていきますので、のびのびとした歌声を期待しています。					

科 目 名	文化人類学	単位数	1	時間数	15
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	2 年
科目の概要	人々の生活のなかには、さまざまな習慣や行動のしかた、価値観がある。講義では、多様な習慣、行動、価値観について具体例に触れながら、それらを観察し、比較し、背景を探ることで、私たちがあたりまえに思っている自分の生活の習慣、行動、価値観について考えていく。				
学 習 目 標	1. 多様な習慣、行動、価値観を観察し、比較する方法を学ぶ。 2. 自分の生活の背景にある文化について考える力を養う。				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. ヒトとは何か 観察し比較する方法を学び、ヒトの特徴について考える。	講義	3H	外部講師	
	2. 文化を持つ生物 文化を観察する視点を学び、異文化や動物の文化について考える。		3H		
	3. 世界観と生業 さまざまな世界観のあり方や、狩猟採集、牧畜、農耕を生業とする文化を概観し、自分の文化と比較する。		3H		
	4. 医療の文化 医療や生死に関する世界観について考える。		3H		
	5. 睡眠の文化 睡眠を文化として捉え、自分の日々の睡眠の習慣や価値観について考える。		3H		
評 価 方 法	レポート課題（70%） 授業ごとの小レポート（30%）				
テ キ ス ト	担当教員がプリントを配布する				
参 考 文 献	適宜紹介する				
担当教員からのメッセージ 「異文化」と聞くと、「自分とはまったく異なる習慣をもっている人々の文化」という印象を受けるかもしれません。授業を通して、「異文化」には「自分たちと異なっている部分もあるけれど、似ている部分もたくさんある」という視点を手に入れていただき、そして「異なっている部分や似ている部分をもたらした背景」について思いをめぐらせるようになっていただければと思います。					

科 目 名	心理学 I	単位数	1	時 間 数	30
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	1 年
科目の概要	人間の心理や行動の原理を学び、自己理解、他者理解を深める。				
学 習 目 標	1. 心理学の基礎理論を理解する。 2. 人間の行動とその規定条件との関係を理解する。 3. 人間の行動とその根底にある認知を理解する。 4. 人間と人間の関わりについて学ぶ。				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	(1) アイスブレイク (2) 動機付け (3) 感覚と知覚 (4) 性格 (5) 対人行動と対人相互作用 (6) 来談者中心療法 (7) 思考と意思決定 (8) リスク認知	講義 演習	28H	外部 講師	
	筆記試験		2H		
評 価 方 法	筆記試験（90 点）と授業態度/提出物（10 点）による				
テ キ ス ト	心理学・入門 『有斐閣アルマ』				
参 考 文 献	情報を正しく選択するための認知バイアス事典『フォレスト出版』				
担当講師からのメッセージ					

科 目 名	心理学Ⅱ	単位数	1	時 間 数	30
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	2 年
科目の概要	人間の認知について学び、自己に対する理解を深める。				
学 習 目 標	1. 自分について理解を深める。 2. 人間の認知について理解する。 3. 働く際に有用な心理学の理論を知り、実践する。				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	(1) 記憶 (2) 発達心理学（青年期） (3) 心理学研究法 (4) 認知的不協和 (5) 認知バイアス (6) デザイン (7) ヒューマンエラー (8) コーピング (9) ワークエンゲイジメント	講義 演習	26H	外部 講師	
	筆記試験（中間、期末の2回）		2H 2H		
評 価 方 法	① 筆記試験 90 点 ・ 中間試験：45 点 ・ 期末試験：45 点 ② 授業態度/提出物 10 点				
テ キ ス ト	情報を正しく選択するための認知バイアス事典『フォレスト出版』 心理学・入門 『有斐閣アルマ』				
参 考 文 献					
担当講師からのメッセージ					

科 目 名	問題解決思考	単位数	1	時 間 数	20
担 当 教 員	専任教員	実務経験	有	履修年次	1 年
科目の概要	看護は対象を全人的にとらえ、健康問題の解決を図る実践活動である。自分で考え、 全人的なアプローチを行うためには看護過程が必要不可欠である。また、対象に看護を行うために必要な視点は自らの健康問題の解決にも応用できる。看護過程の土台となる問題解決過程は、医学・看護学の専門知識がなくとも、日ごろ暮らすうえで活用している思考である。そのプロセスを理解することは看護過程の技術習得の助けとなる。				
学 習 目 標	1. 問題解決思考を理解する 2. 問題解決思考を活用できる 3. 自己の振り返りができる				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. 問題解決思考を理解する 1)問題解決過程とは (1)問題に気づく (2)問題の明確化 (3)成果目標の立案 (4)解決計画の立案 (5)実施 (6)結果・評価	講義	1H	外部 講師	
	2)日常生活の中で、困った場面・問題だと思った 場面を想起し、事実に沿って具体的に記述する 3)なぜ問題だと思ったのか、どのように問題だと思 ったのか記述する 4)どうありたい、どのようになったらよいと考え たか記述する 5)解決するためにどうしようと考えたか記述する	個人ワーク グループワーク まとめ	2H 3H		
	2. 問題解決思考を活用できる 1)自己の学習状況についての問題を明確化できる 2)自己の学習状況の成果目標が設定できる 3)自己の学習状況の解決計画が立案できる	個人ワーク グループワーク	3H 3H		
	3. 自己の振り返りができる 4)実施・結果・評価	個人ワーク グループワーク まとめ	3H 3H		
	評価	レポート	1H		
	まとめ	講義	1H		
評 価 方 法	レポート				
テ キ ス ト					
参 考 文 献	基礎看護技術Ⅰ「医学書院」				
担当教員からのメッセージ 問題解決思考を活用し、日々の暮らしを客観視することにより、レベルアップを図りましょう。					

科 目 名	地域交流Ⅰ	単位数	1	時 間 数	15
担 当 教 員	専任教員	実務経験	有	履修年次	1 年
科目の概要	看護の対象はあらゆる発達段階や健康レベルにある人とその家族である。地域で暮らす人々の生活を知り、看護学生としてできる活動を行うことは、地域住民に看護の心を伝えることに匹敵する。 地域住民に役立つ看護活動を行うためには地域住民の情報を得ること、必要な活動を計画すること、実施状況・対象の反応から結果を評価することが必要である。主体となる2年生の計画に参画することにより、必要な要素を学び、次年度の修正運営につなげる。 または、ボランティアの計画を通して、企画を学ぶ。				
学 習 目 標	1. 地域の現状を知る 2. 地域から看護職が求められる役割を知る 3. 実施・結果から次年度に向けた改善点を考えられる				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. 地域の現状を知る 2. 地域から看護職が求められる役割を知る 1) 科目の趣旨を理解する 2) 計画を立てる	講義・個人ワーク	1H	専任教員	
	3) 看護の日の目的を理解し、企画・運営・振り返りに参画する。次年度に向けた改善点を考えられる。	フィールドワーク	6H	各担当 教員	
	4) 文化祭の目的を理解し、企画・運営・振り返りに参画する。次年度に向けた改善点を考えられる。		6H		
	5) 看護学生に求められるボランティアの目的を理解し、企画・運営に参加する * PCU、信濃医療福祉センター、諏訪中央病院病棟、茅野市子ども祭り、ハヶ岳寮祭、ふれあいの里、諏訪中央病院祭、茅野市子ども食堂などの依頼を受けて、事前に参加計画書を提出する。 * 依頼がない場合は、諏訪中央病院グループに貢献できる奉仕活動を計画する。		2H	専任教員	
評 価 方 法	レポート 3) 40 点 4) 40 点 5) 20 点				
テ キ ス ト					
参 考 文 献					
担当教員からのメッセージ 学年を超えた縦割りチームの利点を活用し、先輩のスキルを学びましょう。地域住民に看護の心を伝える楽しさを味わう体験ができるよう願っています。					

科 目 名	地域交流Ⅱ	単位数	1	時 間 数	30
担 当 教 員	専任教員	実務経験	有	履修年次	2 年
科目の概要	社会の高齢化、医療の高度化・専門化に伴い看護職の需要は増大しており、地域においての看護職の確保、定着は大きな問題となっている。看護学生は、卒業後に様々な現場で活躍していくが、どんな現場においても地域ネットワークの中で看護職として他職種と連携しながら地域に貢献していく必要がある。その必要性、役割などを学生時代から考えていく。地域交流Ⅰでの経験を使って地域交流の企画・運営を行う。				
学 習 目 標	1. 地域の現状を理解できる。 2. 地域から看護職が求められる役割を知る。 3. 地域交流の企画・運営を行う。 4. 学年の垣根を超えての交流ができる。				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. オリエンテーション	講義	1H	専任教員	
	2. 看護の日の目的を理解し、企画・運営ができる ・ 企画の立案 ・ 運営ができる ・ 振り返り、次年度の提案	GW、係会 活動 事後係会	5H 4H 2H	各担当 教員	
	3. 文化祭の目的を理解し、企画・運営を行う ・ 企画の立案 ・ 運営ができる ・ 振り返り、次年度の提案	GW、係会 活動 事後係会	8H 4H 2H	各担当 教員	
	4. 看護学生に求められるボランティアの目的を理解し、企画・運営に参加する 5. ボランティアに参加して看護師の役割を考える ・ ボランティア参加計画 ・ ボランティア参加 ・ 振り返り	ボランティア 活動	4H		
評 価 方 法	授業計画 2～5 に関してレポート 2 : 30 点 3 : 30 点 4・5 : 40 点				
テ キ ス ト					
参 考 文 献					
担当教員からのメッセージ 行事の企画・運営をしてリーダーシップ、メンバーシップをとっていきましょう。地域を知る機会になるので、積極的な参加をしていきましょう。 また、ボランティアなど参加をして看護師の役割を考えていきましょう。					

科 目 名	医療英会話	単位数	1	時 間 数	30
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	1 年
科目の概要	国際化していく社会の中で、英語が理解できる力をつける。				
学 習 目 標	1. 日常の英会話ができる 2. 臨床場面での英会話が理解できる 3. 看護に関する英語の文献が読める素地ができる				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. 英会話の基本的な表現と文法の習得 2. 頻出する定型フレーズの活用 3. 看護・医療現場での単語の習得 基本的な挨拶、外来での会話、入院時の会話などシーンを別に学習をすすめる	講義 グループ ペアワーク	26H	外部 講師	
	評価方法	スピーキング試験 筆記試験	4H		
テ キ ス ト	クリスティーンのやさしい看護英会話				
参 考 文 献					
担当教員からのメッセージ Speak as much as possible in English during class. Please study and review the units that you' ve done already/are currently working on. Make sure to know all the “Checkpoint” questions/dialogues. If you have any questions feel free to ask your teacher any time, and let' s enjoy the time we have. 授業中はできるかぎり英語で話しましょう。既習ユニットや学習中のユニットの復習をしましょう。全ての「チェックポイント」の質問や会話が大切です。分からないことがある時はいつでも気軽に担当クラスの先生に聞いてください。私たちと英語の時間を楽しみましょう。					

科 目 名	英文読解	単位数	1	時 間 数	15
担 当 教 員	外部講師	実務経験	有	履修年次	2 年
科目の概要	医療現場の実態を英語の文献から読み解けるようになるための力を養う。				
学 習 目 標	1. 看護に関する英語の簡文献が読める				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. 簡単なトピックの英語を読むために必要な基礎単語や文法を理解する 2. 文章の構成を理解する 3. 簡単な英文の文章の大意をつかめる	講義	14	外部講師	
	評価方法	筆記試験		1H	
テ キ ス ト	Better Health for Every Day				
参 考 文 献					
担当教員からのメッセージ リスニングやリーディングに必要な語彙の習得をベースにすすめます。Listening Activity、Reading Activity を通してパラグラフの概要を確認し、要約ができるように練習します。できる限り自分の力で英文を理解できる力を養います。分からないことがある時はいつでも気軽に先生に聞いてください。					

科 目 名	保健体育	単位数	1	時 間 数	30
担 当 教 員	専任教員	実務経験	有	履修年次	1 年
科目の概要	運動による身体への影響について理解し、健康な心身を育成する				
学 習 目 標	1. 各種運動の特性を理解し、効率の良い体の動かし方を理解する 2. 運動参加を通して公正・協力・責任などの態度を身につける 3. 仲間と協力して授業課題に取り組むことができる 4. 自己の体力や健康の維持増進をはかる 5. スポーツの楽しさを味わう				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	バレーボール（ソフトバレーを含む）	実技	10H	外部 講師	
	バスケットボール	実技	10H		
	バドミントン・卓球（選択）	実技	4H		
	アウトドア・チームビルディングワーク	実技	4H		
	試 験	実技・課題提出	2H		
評 価 方 法	実技試験 授業態度 関心など				
テ キ ス ト	なし				
参 考 文 献	なし				
担当教員からのメッセージ 運動・スポーツは生涯にわたり、生活の中に位置づく活動です。心身の健康管理、コミュニケーションの手段となる活動と言えます。スポーツ科学に基づくトレーニングやコンディショニングも取り入れます。運動が得意・不得意は問いません。お互いを慮り、みんなが楽しめる「体育授業」にしましょう。 ◎授業参加にあたり、心がけてほしいこと ① 自身の健康の維持増進に関心を持ち、様々な運動に取り組みましょう。 ② 仲間と楽しくスポーツに親しみ、交流しましょう。 ③ スポーツ実施時の安全管理・衛生管理を取りながら活動しましょう。 ④ スポーツ・レクリエーションの実施方法を学習し、主体的に取り組みましょう。					